

令和4年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	倫理（必修・ <u>必選</u> ・自選）	対象学年	2	単位数	2	予定授業時間	56
教科書	改訂版 現代の倫理(山川出版社)	担当者	百瀬 雅治				
副教材	なし						

目標		<ul style="list-style-type: none"> ・青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解する。 ・他者と共に生きる主体としての自己の課題を見だし、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探求する。 ・人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義について多面的・多角的に考察する。 					
学期	時数	指導項目	指導内容				
1 学期	18	<ul style="list-style-type: none"> ○現代に生きる自己の課題 ①青年期の意義と課題 ②豊かな自己形成 ③他者と共に生きる自己の生き方 ○人間としての在り方生き方 ア 人間としての自覚 ①古代ギリシャの代表的先哲とその思想 ②一神教と多神教(ユダヤ教) ③イエス(キリスト教の人間観) ④イスラム教の成立過程とその変遷 ⑤仏教の説く人間観 ⑥儒教の成立から朱子学、陽明学の発展 ⑦哲学、宗教、芸術(人間としての自覚) 	<ul style="list-style-type: none"> ○青年期に関する諸学問の成果や世論調査の結果などの資料を活用して、青年期の意義と課題について説明できる。 ○青年期には、自意識の過剰や対人関係における悩みなどを経験し、それらを乗り越えながらアイデンティティを確立していくことについて、エリクソンの考え方を基に説明できる。 ○古代ギリシアの自然哲学者から新プラトン主義に至る思想的な流れを理解し、神話的な世界観を脱して、理性による自然や人間の本質を追究したギリシア哲学の展開を理解する。 ○哲学はよく生きることを、宗教は人間存在を超えた崇高なものを、芸術は美をそれぞれ希求することで「人間としての自覚」を深める精神の営みとなることを理解する。 				
2 学期	23	<ul style="list-style-type: none"> ○人間としての在り方生き方 イ 国際社会に生きる日本人としての自覚 ①古代日本の宗教観 ②日本人の自然観の形成 ③古代から現代に至るまでの我が国の仏教の展開 ④我が国で独自に発展した儒学の特徴 ⑤国学の発展 ⑥西洋文化の受容 ○現代と倫理 ア 現代に生きる人間の倫理 ①ルネサンスと宗教改革 ②西洋的な自然観と合理的精神 ③社会契約説(民主社会の形成) ④ヘーゲル・マルクス(近代市民社会の矛盾) 	<ul style="list-style-type: none"> ○古代から現代に至るまでの我が国における仏教の歴史的展開について、代表的な人物とその思想を踏まえて理解する。 ○古代から近世において日本固有の精神の究明を目指した国学がどのような形で発展したのかについて説明できる。 ○人間が自らの自由意思で自己を形成したり、自己の内面における信仰に忠実に生きることに人間の尊厳の根拠があることについて理解する。 ○自然や科学技術と人間とのかかわりについて、F. ベーコンとデカルトの考え方を対比して理解する ○西洋における民主社会の形成とその発展について理解する 				
3 学期	15	<ul style="list-style-type: none"> ○現代と倫理 ア 現代に生きる人間の倫理 ⑤人間への新たな問い ⑥社会参加と幸福 ⑦人間尊重と社会とのかかわり ⑧公正な社会の実現(ロールズ・セン) イ 現代の諸課題と倫理 ①生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて探究する 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己の生き方を自ら選択し決断する、主体的な人間の在り方について説いたキルケゴールやニーチェの考え方を理解する。 ○サルトルのアンガージュマン(社会参加)の考え方などを援用し、積極的な社会とのかかわりの中で人間は自己の在り方を選択していくということを説明できる。 ○ロールズやA.センの考え方を基に、社会全体の幸福を増大させる、公正な社会を実現するための諸原理について説明できる。 ○現代における様々な課題について、自己の課題と捉え、今までの授業で学んだことを生かし、調べ、判断し、表現している。 				
評価の観点と方法		年間5回の定期考査・授業中に行う課題の取り組み状況・提出物を考慮し、総合的な判断を行う。なお成績については1・2学期は10段階、学年末は5段階で評価する。					

令和4年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	現代社会 (必修) 必選・自選)	対象学年	3	単位数	2	予定授業時間	54
教科書	高等学校 改訂版 現代社会	担当者	伊達昌司				
副教材	-						

目標		<ul style="list-style-type: none"> 現代の政治及び国際政治の動向について関心を高め、政治について基本的な見方や考え方を身に付ける。 現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、経済についての基本的な見方や考え方を身に付ける。 現代社会の基本的な問題について主体的に考察し、公正に判断する力を養う。 					
学期	時数	指導項目	指導内容				
1 学期	20	第2編 現代社会と人間としての生き方あり方 第5章 現代の経済社会と私たちの生活 第6章 国際経済の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> 経済の主体と経済活動の意義、現代の経済社会の変容について理解を深める。 市場機構の機能と限界を理解し、市場の問題点を考察する。 個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。 経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察する。 金融、政府の役割と財政、租税について理解を深め、日本の経済政策の方向性を考察する。 日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 日本の中小企業や農業の現状を理解し、その課題を考察する。 消費者の立場や権利を確認し、消費者保護について考察する。 公害の発生原因と対策を通して、環境への取り組みや循環型社会について考察する。 日本の雇用、労働、社会保障について理解を深めるとともに今後の在り方について考察する。 貿易に関する基本的立場の違いを確認し、国際収支表、外国為替市場を理解する。 第二次世界大戦後の国際経済を概観し、理解する。 地域経済統合の目的やグローバル化する世界経済の現状を理解し、国際経済に与える影響や課題を考察する。 国際社会における貧困や格差について理解するとともに、先進国日本の国際社会で果たすべき役割について考察する。 				
2 学期	28	第2編 現代社会と人間としての生き方あり方 第2章 個人の尊重と法の支配 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義 第4章 国際政治の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> 人権の保障、国民主権、議会制民主主義、権力分立、法の支配など民主政治の基本原則などについて理解を深める。 大統領制や議院内閣制など代表的な政治制度について理解を深める。 日本国憲法の成立過程及び日本国憲法に定める基本的人権の保障について理解を深める。 生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察する。 日本の行政、立法について理解を深める。 司法制度を理解し、法や規範の意義や役割について理解を深め、法意識を高める。 地方自治の意味を理解する。 政治参加の重要性と民主社会において、自ら生きる倫理について自覚を深めさせ、主権者としての意識を身に付ける。 国際法の意義について理解する。 国際連合の目的、平和と安全を維持する組織構成や取り組みを理解する。 第二次世界大戦以降の国際政治体制を理解するとともに、国際的な人権保障の現状を理解し、人権問題の解決について考察する。 核軍拡競争の背景と核軍備管理と軍縮実現の方法を考察する。 日本の安全を守る安全保障政策について理解するとともにこれからの防衛政策について考察する。 				
3 学期	6	第1編 私たちの生きる社会 地球環境問題 資源・エネルギー問題 科学技術の発達と生命倫理 高度情報社会と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題について、よりよい社会を築くために解決しなければならない問題として考える。 資源、エネルギー問題への考察を通して、社会の在り方を考察する基盤を理解する。 科学技術の発達は、社会や生活をどのように変えてきたかを考え、理解する。 高度情報社会とは何かを理解し、情報化の進展が社会に及ぼす影響について考える。 				
評価の観点と方法		定期考査、授業態度、提出物、課題の取り組み状況を考慮し、総合的な判断を行う。					

令和4年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	政治・経済 (必修・ <u>必選</u> ・自選)	対象学年	3	単位数	4	予定授業時間	64
教科書	高校政治・経済 新訂版	担当者	百瀬雅治				
副教材	最新政治・経済資料集 新版2022 NEW COM.-PASSノート政治・経済						

目標		<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テストに向けた基礎的知識の定着を、過去問演習などを通して目指す。 ・現代の政治及び国際政治の動向に関心を高め、政治について基本的な見方や考え方を身に付ける。 ・現代の日本経済及び世界経済の動向に関心を高め、経済についての基本的な見方や考え方を身に付ける。 					
学期	時数	指導項目	指導内容				
1 学期	20	第2編 現代の経済 第1章 現代の経済社会 第2章 現代の日本経済と福祉の向上 第3章 現代の国際経済	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の主体と経済活動の意義、現代の経済社会の変容について理解を深める。 ・市場機構の機能と限界を理解し、市場の問題点を考察する。 ・個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。 ・経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察する。 ・金融、政府の役割と財政、租税の理解を深め、日本の経済政策の方向性を考察する。 ・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 ・日本の中小企業や農業の現状を理解し、その課題を考察する。 ・消費者の立場や権利を確認し、消費者保護について考察する。 ・公害の発生原因と対策を通して、環境への取り組みや循環型社会について考察する。 ・日本の雇用、労働、社会保障の理解を深めるとともに今後の在り方について考察する。 ・貿易に関する基本的立場の違いを確認し、国際収支表、外国為替市場を理解する。 ・第二次世界大戦後の国際経済を概観し、理解する。 ・地域経済統合の目的やグローバル化する世界経済の現状を理解し、国際経済に与える影響や課題を考察する。 ・センター試験の過去問や私立大学入試の過去問演習を通して、問題形式になれ、適切に設問に解答できるよう指導する。 				
2 学期	28	第1編 現代の政治 第1章 現代国家と民主政治 第2章 日本国憲法と基本的人権 第3章 日本の政治制度と政治参加 第4章 現代の国際政治 第5章 日本の平和主義と国際平和	<ul style="list-style-type: none"> ・人権の保障、国民主権、議会制民主主義、権力分立、法の支配など民主政治の基本原則などについて理解を深める。 ・大統領制や議院内閣制など代表的な政治制度について理解を深める。 ・日本国憲法の成立過程及び日本国憲法に定める基本的人権の保障について理解を深める。 ・生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などを理解する。 ・日本の行政、立法について理解を深める。 ・司法制度を理解し、法の意義や役割について理解を深め、法意識を高める。 ・地方自治の意味を理解する。 ・国際法の意義について理解し、国際連合の目的、平和と安全を維持する組織構成や取り組みを理解する。 ・第二次世界大戦以降の国際政治体制を理解するとともに、国際的な人権保障の現状を理解し、人権問題の解決について考察する。 ・核軍拡競争の背景と核軍備管理と軍縮実現の方法を考察する。 ・日本の安全を守る安全保障政策について理解する。 ・センター試験の過去問や私立大学入試の過去問演習を通して、問題形式になれ、適切に設問に解答できるよう指導する。 				
3 学期	16	入試対策	<ul style="list-style-type: none"> ○大学入学共通テストの過去問や私立大学入試の過去問演習を通して、問題形式になれ、適切に設問に解答できるように指導する。 				

評価の観点と方法	定期考査、授業態度、提出物、課題の取り組み状況を考慮し、総合的な判断を行う。
----------	--